

紙面づくりに参加、協力してくれている「特派校」から、学校自慢が届きました。今後も特派校のみなさんといっしょに紙面をつくっていきます。ぜひ参加してください。

中学・高校特派校発

私の学校の魅力を紹介

歴史を感じる環境で勉学に励む

ぶんきょうがくいん
文京学院
大学女子
中学・高校
(東京都文京区)



校舎内から見られる日本庭園の六義園

文京学院がある東京都文京区は、歴史を身近に感じることのできる街です。すぐ隣には有名な「六義園」という日本庭園があります。

江戸幕府の5代将軍・徳川綱吉の側用人だった柳沢吉保の下



校舎内にある暖炉。総理大臣の加藤高明が所有していました

屋敷としてつくられ、その後、三菱財閥の基礎をつくった岩崎弥太郎が所有者になりました。日本史の教科書にも登場する2人は、文京生にとって身近な歴史上の人物です。

また、校内にはとても古いキャビネット形の暖炉が展示してあります。何と、これは第24代総理大臣だった加藤高明が所有していたものなのです。本校が加藤高明邸の跡地にあるというご縁で残されています。

歴史に彩られた文京学院で、私たちは歴史上の人物が活躍した時代や場所に思いを馳せながら、今日も勉強に取り組んでいます。(高2・篠原美佳、松沢渚)

かまくらがくえん
鎌倉学園
中学・高校
(神奈川県鎌倉市)



グラウンドに行くだけで、幸せ

歴史ある鎌倉の地に建つ鎌倉学園は、緑に囲まれた北鎌倉にあります。学園には、実はグラウンドが二つあります。一つ目のグラウンドは校舎に囲まれた人工芝の第1グラウンド。そして、もう一つの第2グラウンドは山の上にあります。

山の上に行くためには何と、裏門から臨済宗建長寺派の大本山であり、けんちん汁の発祥の地ともいわれている建長寺の境

内を通らなければなりません。

体育や部活動のためにこの山の上のグラウンドへ向かう道中には、北鎌倉の自然が広がり、歴史的建造物や文化を身近に感じることができます。ウグイスの鳴き声が聞こえることも珍しくありません。このような環境で学校生活をおくれることに幸せを感じています。

(高2・那須一真)

第2グラウンドに向かう建長寺の境内は歴史や文化の香りが漂います

ぶんか
文華女子
中学・高校
(東京都西東京市)

2016年に創立100周年を迎える文華女子中学・高校の高校の制服が新しくなりました。とても落ち着きがあり清楚。着心地もいいです。

中学と高校は制服が異なります。現在、中学と旧高校、新高校と3種類の制服を見ることができます。中学のブレザーは金色のダブルボタンで、体が締ま

新制服も好評 声優志望者多い

って見えます。高校の新旧ともチェック柄のオプションスカートは生徒にも人気です。

9月にある文華祭などで、今しか見られない3種類の制服をぜひご覧ください。

東京都内に1校しかない珍しい部活の声優部も紹介します。非常に珍しいため、声優部に入るために入学する生徒も多いそうです。石田瞳部長によると、アットホームで個性豊かな部員たちが、この部の魅力ということです。

自分たちで動画を選んだり、アフレコをしたり、音声を作ったり、とにかく楽しそうです。校内でする上映会のほか、コンクールにもチャレンジしています。

私から見てもかなりクオリティが高く、4月に入学した1年生がどんな風に活躍するか、今から楽しみです。

(高3・藤田珠里、村上夕莉)



東京都内に1校しかない珍しい声優部

100周年を前に新しくなった高校の制服

一緒に紙面づくりをしませんか？

朝中高特派員、募集します

朝日中高生新聞は全国の中学生・高校生読者のみなさんから「朝中高特派員」を募集します。

2015年度は、紙面を一緒につくる「仲間」として活躍してもらいます。朝日学生新聞社からのアンケートに答えることで意見を紙面に反映させるだけでなく、地元で話題になっていることや身近ではやっていること、もっと知りたいニュースなどについて、編集部へ企画を提案。採用された場合、編集部の記者と一緒に取材したり、原稿を書いたりしてもらおうこともあります。

人気芸能人や話題の現場を記者と一緒に取材してもらおうこともあります。昨年度は女優の石原さとみさんや、プロ野球・日本ハムの大谷翔平

選手に、中学生特派員が取材しました(ただし、同行取材は全員が体験できるわけではありません)。

▼応募方法はこちら

パソコンかスマホで専用サイト (<http://asagaku.com/2015report/chu.html>) の応募フォームを開き、①名前②保護者名③郵便番号④都道府県⑤住所⑥学校名⑦学年⑧メールアドレス(PC)⑨メールアドレス(携帯)⑩電話番号(自宅)⑪FAX番号を登録してください。

朝日学生新聞社からメールでお伝えするURLにアクセスし、プロフィール用紙を印刷してください。

専用サイトから登録

4/27まで

【応募上の注意】

- ・編集部からのアンケートに答えてもらう機会が多いため、メールでMicrosoft Wordのやり取りができる、またはFAXが使えることが条件です。
- ・記者と一緒に取材ができるのは、紙面に写真と名前、学校名が載っても構わない人だけです。
- ・必ず保護者の承諾を得てから応募してください。学校の承諾が必要な人は、各自で必ず承諾を得てください。

プロフィール用紙に自己紹介などを書き込んで郵送してもらった後で、登録完了となります。パソコンでインターネットが使えない人は、①~⑩を書いて、「朝中高特派員応募用紙」係まで、FAX(03・3545・0727)へ送ってください。折り返し、応募用紙をお送りします。

【締め切り】4月27日(月)

※14年度の特派員で今年度も続けてくれる人も、再度手続きをお願いします。

「中学・高校特派校」募集しています！

紙面づくりに参加してくれる「中学・高校特派校」も募集しています。編集部が定期的にする「テーマ」から、興味のあるものを生徒が選び、取材するのが、主な活動です。紙面やデジタルで紹介します。生徒会や新聞部などの単位で参加できます。対象は、朝日中高生新聞を現在ご購読中、または購読予定の学校です。

特派校に関する問い合わせは特派校事務局(03・3545・5227=平日午前10時~午後5時)。